

1. 件名：島根原子力発電所2号炉の地震等に係る新規制基準適合性審査に関する面談

2. 日時：令和4年4月7日（木）11時00分～12時05分

3. 場所：原子力規制庁9階耐震会議室

4. 出席者

原子力規制庁：名倉安全規制調整官、熊谷管理官補佐、佐口主任安全審査官、谷主任安全審査官、海田主任安全審査官、西来主任技術研究調査官、磯田係員、松末技術参与

中国電力株式会社：電源事業本部長 他5名

5. 自動文字起こし結果

別紙のとおり

※音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

6. 提出資料

- ・島根原子力発電所 日本海南西部の海域活動断層の長期評価（第一版）の影響について

時間	自動文字起こし結果
0:00:03	原子炉規制庁のクマガエです。
0:00:05	それでは島根原子力発電所、日本海、
0:00:09	南西部の海域活断層の、
0:00:11	状況課題一般の影響についてということで、
0:00:14	中部電力さん、長電力と面談をしたいと思います。ではよろしく願い いたします。
0:00:22	おはようございます中国電力の阿比留と申します。
0:00:25	先ほど熊谷さんおっしゃられたように長期評価の資本の方から出ました ので、我々としてはですね、しっかりそこら辺どういうふうにい いようがあるかということ
0:00:35	ちょっと資料にまとめて参りましたので、まずはちょっとご説明させて いただきたいというふうに考えております。説明の方は、鹿島の方から したいと思いますよろしく願いいたします。
0:00:46	はい。中国電力の鹿島と申します。それでは、お配りしております資料 に基づきまして、当社のですね長期評価についてですね、地震動並びに 基準津波への影響について、
0:00:57	評価をして参った結果をご説明させていただきます。
0:01:00	めくっていただいて2ページをお願いいたします。
0:01:03	今回の資料構成目次ですけれども、まず1ポツで、今回の長期評価です ね、地震本部等の長期評価の地震選定の考え方、断層の選定の考え方と 当社の評価との差分について、
0:01:16	まとめてございます。2ポツで、こちらについてですね地震動への影響 評価をしてございます。3ポツで、基準津波への影響の有無というこ とで、3、3部構成で資料を取りまとめてございます
0:01:29	3ページ目をお願いいたします。
0:01:31	こちらが地震本部さんが今回まとめられた長期評価のうち、島根のサイ ト前面に分布している断層の位置図でございますが、こちらは、上の箱 書きに書いてございます。
0:01:43	抜粋してみますとこちら日本海南西部の海域に分布する活断層につい ては、マグニチュード7.0程度以上の地震を発生させる可能性がある、長 さ20キロ以上の活断層というのが主な抽出基準としまして、
0:01:56	されておましてこれらについて断層の命名がされております。
0:02:02	4ページ目をお願いいたします。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:02:04	こちらですね、今回地震本部さんの、断層の選定の考え方と当社の評価との差分ですねこちらについて検討した結果を記載しております。
0:02:16	まず、地震本部さん、こちらにつきましては、資料の中でもですね、既存の研究成果の事業、電気事業者の音波探査記録とか研究機関の探査記録ですね。
0:02:27	そういったものに基づいて、改めて断層トレースをされているというふうな記載がされておまして、具体的には、あと表の中の左側ですね、参考となる文献としてこういったものが羅列されてございます。
0:02:39	このうち、赤字で記載しております中国電力株式会社加古 2014 というのが参考文献でも印象、引用されておりますが、こちら右側の方に記載しております具体的にはですね、
0:02:51	衛藤 2014 年の 3 月 19 日の
0:02:54	第 95 回の審査会合資料、敷地周辺海域の活断層評価に係る審査会合の資料がですね、直接引用されてございます。
0:03:03	こちらは約 8 年前の審査会合での資料でございます、
0:03:07	当社、この審査の後ですね。
0:03:10	活断層の断層端部のデータ拡充の観点から、追加で音波探査を実施してございます。
0:03:16	最終的には、翌年の 2015 年の 11 月の審査の中でですね、追加調査結果を踏まえた断層の評価長さについて、概ね了解というふうに審査、
0:03:27	痛手審査結果をいただいておりますので、こちらのデータまではこのスーパーの地震本部さんのデータとしてはですね、引用されていないということが一つ、差分として挙げられます。
0:03:40	もう 1 点ですね、こちら、下の表の下の行に書いてございますはいの活断層の認定の考え方ですが、
0:03:47	こちらは、次、地震本部さんの抜粋でいきますと、
0:03:51	左側の表の左側ですけれども、
0:03:54	海底直下の鮮新世以降の地層に 5 ないし 10 メートル以上の上下変位を与える。
0:04:00	断層構造、或いは撓曲が複数の測線に連続して認められる場合に、活断層と認定したと。
0:04:06	いうふうな記載がございますので、こちらが、原子力のルールでいわゆる、いわゆる後期更新世以降の地層というのと、判断基準がね、若干差異がありますのでこういったところもですね、

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:04:16	断層トレースに差分が出ている要因ではないかというふうに考えております。
0:04:22	めくっていただきまして、6ページお願いいたします。
0:04:25	こちら参考の1例で今申し上げましたような差分で、こういったところとレインズに差があるかという点とまず、
0:04:32	敷地前面の海域ですね、そちらに分布している断層について、
0:04:37	あと概略比較をしてございます。
0:04:40	図の左側ですね、黄色の太線で書いてございますのが、地震本部さんが、トレースされている活断層、
0:04:47	家バードがついた赤字、赤線黒線というのが当社の断層トレースで、赤線がですね、かつとして考慮している断層でございます
0:04:56	敷地主生命会議でいきますと、地震、地震本部さんでいきますと、
0:05:01	図の中の2-1のこれが島根半島北方沖断層体というふうに銘打っておりますが、こちらがですね、当社の断層でいきますと、F3FMFを、
0:05:12	この3年度の48キロというふうに評価したものに該当するものでございます。
0:05:17	もう一つですねその北川3ポツというふうにずんずんのかごで書いてございます。泉沖断層、
0:05:23	こちらが、
0:05:24	当社が評価しているFK1断層、19キロとして評価されているものを、
0:05:29	本部さん地震本部さんでは31キロというふうな評価がされております。
0:05:34	これ細かな断層トレースの根拠については資料から読み取ることはできておりませんが、このサブにつきましては、先ほど申し上げましたように一つは、
0:05:43	海域の3年度、F3F4F5につきましては、当社の追加調査結果ですね、これが反映されていないことが一つの要因ではないかと考えております。
0:05:53	もう1点は、活断層の認定基準ですね。
0:05:56	鮮新世以降の地層の変位の有無、変形の有無ということで判断されてますので、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:06:02	当社はですね、例えばC層に変形を認めていて、B層に変形を見てないと、そういったところで活動してないところに破砕部が出ているのではないかというふうに考えております。
0:06:14	次のページ、7ページ8ページをめくっていただきます
0:06:17	たいと思います。こちらはですね、そのさらにその外側の敷地周辺海域と呼んでおりますが、もう少し広域的な断層についてですね。
0:06:25	当社の評価と、地震、地震本部さんの評価の重ね書きをした図でございます。
0:06:31	8、8ページ、下段の方にですねそれぞれの断層の名称ないし長さというのを対比した結果を示してございます。
0:06:40	こちらにつきましてもですね、当社の評価結果と
0:06:45	永谷がですね、違いがあるものが認められます。これも先ほど申しましたように、
0:06:51	活断層の認定基準の差異といったようなところがですね、要因になっているのではないかというふうに考えてございます。
0:06:59	はい。以上の結果をもちましてまずはですね地震動への影響があるかないかというところを、9ページ以降で検討してございます。
0:07:08	9ページの方にまず、地震動の影響評価の検討フローをまず示してございます。
0:07:14	基本的な考え方としましては、あのさ、海域の活断層、敷地前面海域周辺海域というふうに分類しておりますが、
0:07:23	サイトに近い敷地前面海域に分布する地震本部さんの断層につきましては、検討としても
0:07:30	無条件でコアの検討対象として挙げております。あわせて、その外側に分布する断層につきましてはですね、MΔ図に落とし込んで、
0:07:39	震度5程度以上のものを、スクリーニングかけてですね、検討対象として挙げております。これらの断層につきまして、今回は、
0:07:48	地震本部さんの断層の長さそのものを採用した上でですね、
0:07:52	当社の検討用地震動との大小関係というのを比較してございます。
0:07:57	10ページが、今回、スクリーニングの対象とした断層の一覧を示したものでございます。
0:08:03	水色でハッチ掛けをした右側の断層ですね、断層の名称に水色で8分けをしております。こちらが、2-1-23ポツというのが、敷地前面海域に分布する断層ですので、こちらは

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:08:16	無条件に評価対象として挙げてございます。
0:08:19	で、赤書きの 8、ハッチングでした。
0:08:23	しております断層につきましては、概ね半径サイトから 150 キロ圏内 です。ね周辺の断層ということでこれらをすべからくスクリーニングの網 かけてございます。
0:08:34	11 ページをお願いいたします。
0:08:37	こちらが、エムデルダ図にプロットした結果でございます、
0:08:42	江藤震度 5 程度以上の、に分類されるものがですね、敷地周辺断層、海 域の断層のうち、No. 14678 という、
0:08:52	受け、五つの断層がですね、網にかかりましたので、それに、敷地前面 海域に分布するNo.2No.3 を加えた計七つの断層ですね。
0:09:02	こちらを、
0:09:03	検討用地震動等へ比較対象として選定しております。
0:09:08	12 ページをお願いいたします。
0:09:11	12 ページが、検討を、基準地震動、すいません検討用地震動として挙げ ております F 3 F 4、F 5 断層、こちらの耐専式に基づく地震動評価結果 との、
0:09:22	大小関係の比較をした結果でございますが、
0:09:26	結果、右の図見ていただきますように、赤実線で示しております、F 3 F 4 F 5 断層ですね。
0:09:32	こちらのスペクトルにいずれも包絡されており、
0:09:35	基準地震動 S s への影響がないということを確認してござい
0:09:41	13 ページ以降で、
0:09:43	こちらの検討はですね、特にこのピックアップした県の抽出した断層の うち、島根半島北方沖断層、こちらが検討用地震でもなっております、 F 3、F 4 F 5 断層、
0:09:56	これに相当するものということで、こちらについてはですね、より詳細 な検討ということで、アスペリティを考慮した評価、比較検討というの も実施してございます。
0:10:06	13 ページでは、両者の断層ですね、地震規模の比較をした結果ござい ますが、マグニチュードを見ていただきますように、地震規模について は同程度ということを確認してございます。
0:10:18	14 ページが、こちらがアスペリティの位置のモデルですね。すいません こちらで 1 点 2 点ほどちょっと訂正差し上げ移転訂正率がこちら、

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:10:28	A s p e r i t yにつきましては、
0:10:30	保守的にセグメントにおいて敷地に近い位置に配置してございます。これが上段のモデルでございますが、ちょっと白抜きになってございます。これ、すみませんちょっとPDF化する段階です、中の網掛けの8が、
0:10:43	色が抜けてございますが下の図のようにですね、メッシュを切ってる図になってございますので、こちら申し訳ございませんでした。
0:10:50	14 ページが、
0:10:51	すみませんそれと、13 ページに戻りまして、すみません、もう1点の訂正がすみません先ほどご説明すればよかったんですが、
0:10:58	13 ページの左の表ですね。
0:11:00	中国電力当社の伴断層のパラメーターで、断層幅W、これが19.4 キロとなつてございますが、19.17 キロの動きでございます。申し訳ございませんでした
0:11:17	はい。それでは、15 ページをお願いいたします。
0:11:20	15 ページは、先ほど申し上げました
0:11:24	島根北方沖断層体ですね、こちらをMと等価震源距離の関係式の関係図にプロットした結果を示してございます。
0:11:33	F3F5断層につきましてはですね、応答スペクトルに基づく地震動評価では、耐専式で設定された、
0:11:40	極近距離との関係から、基本新モデルの地震動評価で耐専式を再適用しておりますが今回プロットした結果もですね、概ね同程度の位置にあるということで今回も、
0:11:51	耐専式を適用して地震動評価をしてございます
0:11:55	16 ページがその結果でございますが、アスペリティを考慮した検討におきましてですね、
0:12:01	今回の島根北方沖断層体による地震が、当社評価によるF3F5のスペクトルに包絡されるということを確認しており、
0:12:10	以上が地震動の影響についての検討結果でございます。
0:12:15	18 ページ以降が、今度、基準津波への影響の有無について検討した。
0:12:21	内容でございます、
0:12:23	18 ページに検討のフローを書いております。
0:12:26	こちらにつきましては設置許可での流れと同様にですね、まずは、地震、今回の地震本部さんで、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:12:34	提示された断層の長さそのままを用いましてですね、阿部の簡易予測式、こちらで、
0:12:40	予測高が最も厳しくなるものを抽出していたしまして、今回は、
0:12:45	それについてのパラメータスタディまではやっておりませんで、当社が今までやってきたパラメータスタディとですね、
0:12:52	対比をした上でですね、影響があるかないかという比較検討をしております。
0:12:58	19 ページをお願いいたします。
0:13:01	こちらがですね、
0:13:03	阿部の簡易予測式の検討結果でございまして、右側の列です表の中の予測高という右側の列、これが最も大きい。
0:13:12	値、断層をですね、抽出してございます。結果としましては、
0:13:17	島根半島北方沖断層体、こちらが 3.6 メーターということで、最も影響が大きいということになりましたので、
0:13:24	こちらについてですね、当社が実施しておりますパラメータスタディとの対比、そのあたりの対比というのを、20 ページの方で行ってございます。
0:13:34	20 ページの方で、地震本部さんの方で設定されている断層のパラメータ読み取れる範囲のものを、何か記載してございます。で、
0:13:43	当社の評価で用いたパラメータスタディの範囲というのを、右がその右、右列に記載してございます。
0:13:50	まず、3、差分として、まず出てくるのが、断層評価の長さ、地震本部さんの 49 キロに対して、当社の評価 48
0:13:59	こちらにつきましては冒頭でも申し上げましたように、当社につきましては、
0:14:03	地震本部さんが引用された文献以降ですね、追加調査結果というのは、
0:14:08	思いまして、
0:14:09	2014 年時点で 51.5 キロという評価をしていたものを、最終的に 48 キロというふうに評価し、し直しておりますので、その結果によるものでありますので当社の
0:14:20	結果の信頼性があるのではない
0:14:22	というのが 1 点ですね。
0:14:23	あと傾斜方向につきましてはですけどもこちらは地震本部さんの方で北傾斜と呼んでございます。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:14:29	これに対して当社は南傾斜
0:14:31	しておりますが、
0:14:32	この考え方も、資料の分、中身を拝見させていただきますと、
0:14:37	地震をブザーの方はですね、宍道褶曲体の
0:14:41	何円に分布する北傾斜の断層というのが大局的なこの辺りの構造ということで、北傾斜というふうな評価をされて、音探の記録とかですね、読み取ったものではないというふうに読めます
0:14:52	一方我々の方ではですね、音波探査の中でも、
0:14:55	柳北井の北栄に位置する断層ということで、南傾斜の
0:14:59	記録を確認してございますので、
0:15:02	こちらにつきましてもですね、当社の評価結果のデータに基づく結果であり、こちらで、当社の評価でもですね、問題ないのか。
0:15:10	考えており、
0:15:11	それ以外のパラメータにつきましては、当社が実施したパラメータスタディの範囲の中に収まってございますので、
0:15:18	そちらのパラメータでもって津波解析までは実施してございますけれども、この結果でもってですね、
0:15:24	当社の津波評価の結果にですね、影響を与えるものではないのではないのかというふうに考えてございます。
0:15:31	衛藤。
0:15:32	22 ページ以降はですね、今回の
0:15:35	もう少し
0:15:37	F3F5断層と島根北方沖断層体とか、
0:15:42	泉大木断層体と、これらの記述の比較を吞まず、対比を上下で並べているものでございます参考としておつけしておりますが、説明の方から割愛させていただきたいと。
0:15:53	説明は以上です。
0:15:58	規制庁熊谷です。ご説明ありがとうございました。
0:16:02	ちょっと私の方から簡単にちょっと、
0:16:05	幾つか確認させていただきたいんですが、よろしいですか、簡単なところに、
0:16:09	タニ、今回
0:16:11	部長評価の内容と、御社の
0:16:15	評価の差異をですね示していただいて、それぞれ、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:16:18	と。
0:16:19	活断層のものとそれに伴ってその
0:16:23	地震評価についてどうなのかというのと、津波評価についてどうなのか
0:16:27	というのがお示しいただいたんです。
0:16:29	これ、
0:16:30	結論としては
0:16:34	活断層については、
0:16:36	幾つか要因としては、
0:16:41	データを基にしたデータの違いによるものですか、あとは、
0:16:45	海域活断層の、
0:16:46	認定の、
0:16:48	考え方、そういったところで差が出てきていると。
0:16:53	ただその差が出てきてるものについても、地震動津波について、
0:16:57	改めて評価をし直したとしても、その結果としては、
0:17:01	変わらなかったというような、
0:17:03	ことでよろしいでしょうか。
0:17:05	はい。中国電力鹿島です。今おっしゃられた通りの認識でございます。
0:17:09	以上です。
0:17:11	規制庁熊谷です。
0:17:14	それで、ちょっと活断層の今回の状況かとの社員のところについてなんですけども、
0:17:20	ここでは、先ほど、
0:17:22	例えばまず、
0:17:23	データとして2014年のデータを使ってることで、御社と、
0:17:27	2015年誤差2015年の、
0:17:30	もうを図説明いただいた。
0:17:32	追加調査の結果では異なっているという点と、
0:17:36	あと、海域活断層の認定の、
0:17:39	考え方がちょっと違うと。
0:17:41	ということなんですけども、その
0:17:45	それらの違いによってですね、具体的にどういうふうな、
0:17:48	影響が出てきてるのかっていうのをですね、
0:17:51	ちょっとまず、考え方の
0:17:53	違いのところもご説明いただける。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:19:53	出雲沖断層体と称されておりますものと、当社、F K1断層というふう に書いております。こちらも、
0:20:01	縦軸そろえて記載しております、
0:20:04	特に地震本部さんの方は西側にですね、長く断層を引っ張っておられま すんで、
0:20:10	こちらについては、
0:20:12	当社の方の図面ですね、黄色でハッチ掛けをして色塗りをしている範 囲というのが、右の凡例にも記載ございます。B層、こちらが後期更新 世、
0:20:22	地層が分布しているところになりますので、
0:20:26	こちらのB層の音波探査記録ですね、こちらのB層に変位変形がない ということ、音探の記録で確認しておりますので、こちらに活構造は ないというふうな評価しております。
0:20:36	こちらは地震本部さんの方はおそらく、鮮新統の変位変形を読まれてお って活動して見られているというところでこういったところは、
0:20:46	活断層の認定の記事の違いがですね、差分として出てきているところ ではないかというふうに考えております。
0:20:53	ですが以上でございます。
0:21:00	はい、ご説明ありがとうございます、規制庁クマガエてご説明ありがとうございま す
0:21:08	だからそのデータと、御社として、
0:21:11	例えばB層であるような
0:21:15	後期更新世、
0:21:17	のものをみていて、
0:21:20	地震本部については、深層であるような、先進性、
0:21:24	ところまで見ているというところで差が出てるんじゃないかというよう なお考え。
0:21:28	ということで、承知しました。
0:21:34	あとちょっと事実確認ちょっとさせてもらえればと思うんですけども。
0:21:38	断層の長さが違いがあったところっていうのは、
0:21:42	先ほどお示しいただいた通り、
0:21:45	敷地前面では、
0:21:47	2ヶ所の
0:21:50	嶋さんと北方沖断層体と。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:21:53	和泉沖断層、
0:21:55	これらについては、
0:21:57	衛藤地震本部のほうが距離は長かったんだけど、
0:22:02	あそこについては先ほどご説明いただいた通り、
0:22:05	御説明だったと、間違いがあったんじゃないかと。
0:22:08	ということで、2点あって、あと敷地周辺海域では、
0:22:13	藤。
0:22:15	周辺該当違いがあったところってのはどれぐらいあるんですけど、すみません、それもちょっとご説明いただけますか。
0:22:24	中国電力の鹿島です。えと周辺海域のサブにつきましては8ページの方の表ですね。
0:22:31	記載させていただいております。
0:22:34	特に、あのさ、
0:22:37	地震本部さんの方が長い評価をされているのは例えば、6のシリーズ6-16-2、これ日野三崎沖断層、
0:22:45	総体っていうのが、
0:22:47	当社で言うところの大田沖断層、
0:22:49	こちら53キロの評価に対して59キロ。
0:22:52	あと、
0:22:53	ね。
0:22:54	恵璃北北方、羽田木口北方断層体というのが、こちらが、
0:22:59	57キロというふうに評価されております。で、こちらについては当社ですね、
0:23:05	恩田の記録としてはもう孤立した短い活断層、断層のような形で断続的な読み方をしております。で、具体的な断層の長さまでは、
0:23:16	明記してないんですが、こちらはですね、
0:23:19	2014年に、
0:23:20	国交省さんとか文科省さんなんか、
0:23:24	出された。
0:23:26	日本海における大規模地震に関する調査検討会の報告書。
0:23:30	こちらはですね、31キロというふうな形で名前はつけられてないんですけど31キロの断層を引かれてございます。その長さを今、右の表に書いておりますこの31キロですね当社は、
0:23:44	考慮してMΔスで影響が小さいということを判断しましてですね。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:23:50	こちらについても、基準津波ないし地震動には影響ないというふうに考えてございます。
0:23:55	この要因についてはちょっとまだ分析しきれておりませんがちょっとこの記録で、見比べたわけではないんですがやはり先ほど申し上げたような、
0:24:04	活断層の認定基準の違いとかですね、そういったところが一つ起因して るのではないかというふうに考えており、
0:24:13	規制庁熊谷です。
0:24:15	この 8 ページのところのこの※がついてるところについては、これは基本的 的に御社は、
0:24:22	特に断層長さを評価していなくて、文献調査等を、
0:24:26	基づいて長さをもとに、エムデルダ図で、影響が小さいというのを全部、
0:24:31	確認をされていて、
0:24:34	その長さを求めるまでもないということで、
0:24:37	ここでは、その数字は評価していないと。
0:24:40	というようなことで今、
0:24:42	この 31 キロって書いてありますけどこれについても、御社の評価ではなくて、 文献に基づく、
0:24:48	通常今回参考のために書かれてると。
0:24:50	ということで全部評価。
0:24:53	評価上はされていると、長さは評価してないんだけど、小さい営業が小さい ということで評価されてるというふうに、
0:24:59	そこでよろしいでしょうか。
0:25:01	中国電力加島です。今、熊谷さんおっしゃられた通りでございまして、
0:25:06	表の下にはアスタリスクでも書いてございます。こちら基本国交省さんの のですね、2014 年で、
0:25:12	その長さを用いてですね、M Δ 図で、敷地に与える影響はないというふう に評価をしてございます。以上です。
0:25:34	成長熊谷です。
0:25:36	それについては先ほどの、
0:25:38	M Δ 図の評価のところですか。これについては、
0:25:42	検討対象断層としての選定に、
0:25:46	おいて、

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:25:48	その検討用地震、
0:25:50	そして、
0:25:51	県、検討する時にですね。
0:25:55	センターズMΔに基づいて影響が少ないというふうに、
0:25:59	検討されてるということでしょう。
0:26:01	すいませんもう一度そこら辺、
0:26:03	再度正確にご説明お願いいたします
0:26:06	中国電力鹿島です。申し訳ありませんでした。先ほどちょっと言い方が適切でありませんでした検討用地震の選定に影響を与えるものではない。
0:26:15	というのが、
0:26:16	正確なところだと思います。申し訳ありませんでした。
0:26:31	規制庁熊谷です。はい。
0:26:34	事実関係ある程度確認できました
0:26:37	もう1点だけちょっと。
0:26:38	んですけども、
0:26:44	2014年、
0:26:46	今おっしゃる2014年、2014の文献、文献とか介護資料、
0:26:51	地震本部の方に、
0:26:53	で採用されてるんですけど、何かそこら辺で何か地震本部さんと、
0:26:58	2015、もっと新しいものがあるとかそういった話を何かやりとりとかってというのは何かあったんでしょう。
0:27:05	すいません中国電力がします。今おっしゃられた今回の、
0:27:09	地震本部さんの評価に対して、
0:27:12	何か新しいデータがないかという確認をされたかどうかというそういうご質問でよろしいですか
0:27:18	はい。規制庁駒井です。はい。そういうことでござい
0:27:21	はい。中国電力鹿島です。
0:27:24	地震本部さんのですね、
0:27:27	今回も記載されてる弊社の文献というのが2014というのが記載されていたので、それ以降の記録を参考にされてるかどうかというのはですね、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:27:37	地震本部さんの方に直接お問い合わせをかけたところ、この参考文献に記載のものを評価しておりますというふうなご回答いただいておりますので、
0:27:46	もうそれでまた 2015 年この当社の追加調査の結果というのはですね、反映されてないというふうに理解をし、
0:27:52	以上です
0:28:12	規制庁熊谷です。
0:28:14	衛藤。
0:28:16	はい。
0:28:18	2014 年については参加されてるというふうに確認されたというのは、
0:28:22	確認できました。
0:28:23	地震本部の、
0:28:25	引用しているデータとしてはですね、2010 年以降とかでも
0:28:30	日本海地震津波調査法プロジェクトにおける、
0:28:34	2011 年のものですか 2010 年、
0:28:37	海域における、
0:28:38	断層情報総合評価プロジェクト 2020 年度、
0:28:41	文献とかも、
0:28:42	用いられてるみたいな。
0:28:44	そういったものってのはこれは、
0:28:46	もうすでに公開されてるようなものですね。
0:28:48	出されてる。
0:28:51	はい。中国電力の鹿島です。まず、4 ページに記載されている日本海地震津波調査プロジェクトの 2021 というものですが、
0:29:03	こちらはですね内容も確認させていただいておりますが、
0:29:07	基本的に
0:29:08	資料の中で、1 度、2014 年にですね、文科省さん国交省さんの中に
0:29:14	先ほど申しあげました、
0:29:17	日本海の、すいません名前が、
0:29:22	日本海における大規模地震に関する調査検討会の報告書というのを、当社も以前審査会合の中で説明させていただいておりますが、
0:29:30	こちらが大体長さでいうと 40 キロ以上の断層を対象にですね、連動等を考慮した保守的な評価をされたような検討結果になっておりまして、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:29:40	こちらの日本海地震調査機実施津波調査プロジェクトといたしますの評価は、それ以外の小さいものですね、含めて、評価をされていると。
0:29:50	いうふうな趣旨で記載がありますので、基本的には 2014 年の国交省さんの評価の中に影響は含まれているということを確認しておりますので、
0:29:59	こちらに新たに大規模な断層の動画で記載されているということはないというふうに考えて、
0:30:05	もう 1 点の海域における断層情報総合評価プロジェクトといたしますのは、こちらの内容も確認しましたが、
0:30:12	こちらは、目的としては、いろんな機関が実施されている音波探査のデータを一元管理してデータベース化するということを主目的にされているものでございまして、特に、
0:30:24	エアガンとかですね、そういう深い記録を主眼を置いて、
0:30:27	データを収集されているものでして、
0:30:29	特に、活断層の活構造の有無というところはですね、直接影響はしないのっていうふうにしないのではないかとというふうに考えてございます。
0:30:37	ですのでこういった文献を見た上でですね。
0:30:40	最終的に 2014 年の国交省さんの文科省さんなんか出された、
0:30:45	日本海における大規模地震に関する調査検討会の断層というの長さというのがですね、一つこれは包含する評価になっているのではないかとというふうに考えており
0:30:53	以上です
0:30:59	はい。規制庁熊谷です。はい。ご説明ありがとうございます
0:31:19	はい。規制庁佐口ですけども、ちょっとすいませんすごく基本的なことをまずお聞きしたいんですけど、御社として今回、
0:31:28	この長期評価が、どの部分が、例えばですね、何か新知見なのかとかですね、そうそういう何か、
0:31:37	ところが、今ちょっと資料分かんなくてですね単純に何か断層の位置とか断層の長さが変わったとかおっしゃられてますけど、
0:31:46	具体的にちょっとどの辺りが、新しい
0:31:49	な知見になりうるものなのかそうじゃないのかって考えてるのかちょっと教え

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:31:57	中国電力の阿比留です今夏のやつをですね、まず新知見ととらえるかということに関しましてはですねもう少し精査が要るかなというふうに思っておりますので、
0:32:08	この海の、海域の前面の断層がですね、我々が評価したものより、1キロなかったということで、規模が変わるっていう可能性がありますので、
0:32:19	そこら辺をちょっと精査させていただいていると、ということです。ですので、
0:32:24	我々としてこれが新知見、新たな知見ではあるんですけども、基準地震動に関わるような新知見というふうには今のところはとらえておりません。以上です。
0:32:36	佐口です考え方はわかりまし
0:32:39	ね。
0:32:40	ちなみに、
0:32:41	この4ページにある、
0:32:43	あのさ、最後のその、
0:32:46	待機活断層の認定方法なんですけど、
0:32:49	何か御社は、当然今のこの審査の中でやってるのと、この
0:32:55	推本の、
0:32:56	評価原則としてって書かれてるんですけど、
0:33:00	今後、ここはちょっと違いますよねと
0:33:03	いうご説明だったと思うんですけども。
0:33:06	ちなみにこの
0:33:07	推本で、原則としてって書かれている部分なんですけど、これの何か、
0:33:13	バックグラウンドみたいなのでこうご存じです。
0:33:16	なんでこの鮮新世以降の地層っていうふうにされたのかと。
0:33:26	中国電力鹿島です。すいませんこちらちょっと目確たる根拠というのは、すいませんわからないんですが、例えば長期評価ですので、
0:33:36	平均変位速度とか単位変位量とかそういった累積の変位からですね、そういう変位の速度を出すことが一つの目的になっておりますので、
0:33:46	そういった観点で幅広い年代まで、幅を広げてですね、変位を見ているのではないかというふうに考えております。これ、確たるものではないんですが、私はそう、一つそういう理由があるんじゃないかというふうに考えて

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:33:59	以上です。
0:34:02	中国電力の清水です。1点補足させていただきますとそういう地震本部の報告書の中にも書いてありますけども今後に向けてというところで課題的な記載としてですね、
0:34:12	本評価で用いた反射断面からは、断層の位置や浅部の形状等が推定は可能であるけども十分な分解能があるものではないと。
0:34:23	なので評価もかなり難しいので今後、そこら辺を高度化していく必要もあるというところもあってですねおそらく、こういった原則としてというのが書いてあるのも、その両院の一つかなというふうに思っております以上です。
0:34:38	はい。規制庁佐口です。わかりましたなので基本的に御社は、何ていうんすかね。報告書。
0:34:45	の内容から
0:34:48	しているということで、少なくとも、敷地前面海域という、
0:34:53	断層の評価について、それが何でこういう評価をされたのかっていうのを、例えばちょっと深掘りしてみるとか、
0:35:03	そういうことは実はされてなくてあくまでも報告書の内容から、
0:35:09	推測、推測なのか、報告書の記載に忠実に
0:35:15	書かれていると、そういう理解でよろしいんですね。
0:35:19	はい。中国電力鹿島です。今、佐口さんおっしゃられた通り、あくまで報告書で読めて、読み取れる範囲の中です、我々ができるだけ網羅的に評価するというので、
0:35:29	特になく、当初より長い評価されているものもありますので、仮にそれを考慮したとしても、
0:35:36	地震なり津波影響があるかないかというところで今回取りまとめたものでございます。以上です。
0:35:44	はい。規制庁サグチ説ありがとうございます
0:35:51	はい。規制庁佐口ですけど、ちょっと引き続き
0:35:54	幾つかの確認をさせていただきたいんですけども、
0:35:59	現時点での影響評価、津波とか地震とか、これまでの既許可の部分の評価における影響、
0:36:07	について、確認された。
0:36:11	ていうところなんですけど、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:36:15	12 ページですかね、12 ページなんかは S s 数に関連したものになるんですけど、
0:36:21	まず検討用地震として当然ここ F 3 から F 5 の、
0:36:25	断層による地震というのを検討用地震としてやっていて当然これは表、応答スペクトルに基づく方法、
0:36:33	で評価されてるんですけど、ここでちょっと確認をさせていただきたいのは、
0:36:39	今回の
0:36:42	どれになるんですかね。丸。
0:36:44	2 番。
0:36:46	新野。
0:36:47	断層になるのかな。
0:36:48	島根半島北方き断層体。
0:36:51	これと、御社がこれまでやってきた F 3 から F 5 の比較みたいな形でされているんですけど、
0:36:59	これ、13 ページとも関係するんですけど、
0:37:04	等価震源距離ってどういうふうに出されているのかっていうのと、
0:37:09	何かこう、私も今ざっとこう、
0:37:12	この推本の長期評価の中で見見ただけなんですけどこの 13 ページの赤線で示された、
0:37:19	断層
0:37:21	トレースというのが断層モデルっていうんですかね、矩形モデルなんですけど、これって、
0:37:28	ちょっと何か今候補報告書を見る限り、若干違うような感じを見受けられたんですけど、これって、
0:37:36	報告書のトレースをそのまま使っ
0:37:40	てます。
0:37:41	ちょっとそこ確認をさせてください。
0:37:44	中国電力の秋山です。
0:37:47	まず、12 ページの等価震源距離ですけれども、これは矩形断層、
0:37:56	仮定しまして、一応断面、
0:37:59	A s p e r i t y なし、の断面に対して、X、等価震源距離を計算して、スペクトルを比較していると。
0:38:08	既許可の段階でもそういった比較をしておりますのでそれに合わせた、

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:38:13	やり方を行っています。
0:38:17	それと、
0:38:20	この断層、13 ページですけれども、
0:38:24	出そうとれ数については、ちょっと、
0:38:36	セグメントを、
0:38:38	セグメントといいますセグメントが分かれているものに対しては、どう いうふうにトレースするのかっていうところが、今回この推本の長期評 価で、地震動評価してるわけではないので、
0:38:52	そこまでは出ておりませんのでこちらの方で設定をしております。やり 方としては、セグメント分かれている部分に対して、
0:39:03	それぞれ延長をして、そのセグメントが交わる部分、そこを 0.2 して、 トレースを引いてるといような形でやっております。そういったこと もあってちょっと参考。
0:39:15	といった位置付けにさせていただいております。
0:39:19	はい。規制庁佐口です。わかりましたなので
0:39:22	ちょっとこれは、その長期評価の中で書かれてることも踏まえた上で御 社がトレースをしたと。ちなみに、今この
0:39:30	報告書の 79 ページにあるんですけど、こういった図の 24 ですか、
0:39:36	なんか、98 ページにある、
0:39:38	古野さんとかですね、こういうものを参考にして、引かれた。
0:39:44	わけではないという
0:39:46	ことでよろしいですね。
0:39:49	はい。中国電力の秋山です。はい。今回の 13 ページでの断層トレース については、推本に記載されている単点の緯度経度がありまして、それ をもとに先ほど、
0:40:01	ご説明しましたように、
0:40:04	各セグメントを延長させて、トレースを引くといったことをしてござい ます。
0:40:11	はい。佐口です。わかりました。あとすいません、もう 1、
0:40:15	もう 1 個、
0:40:17	細かいことなんですけど 19 ページで今度は津波の方なんですけど、
0:40:21	これ阿部の予測式で、今回の
0:40:28	評価されてるものがどれぐらいなのかっていうと、やっぱり結局島根半 島補大きい断層体っていうのが、簡易予測式では一番影響大きい増と。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:40:37	いうところは、わかるんですけど、これを 20 ページでいきなりパラメータの比較になってるんですけど、例えば御社のこれまでの F3 から F5 のものを、
0:40:48	簡易予測で、この阿部の予測でやったときにどれくらい違うのかみたいなもの、もしわかったら教えてもらっていいです
0:41:01	すいません中国電力加島です。ちょっとすいません本日ちょっと手元に持ち合わせてないんですがおそらく肝予測式はもうこれ 1 と長さだけ、パラメーターですので、
0:41:11	これもほとんど同じ位置になりますので、阿部の間約束式で比べたらもうほぼ同値になるんじゃないかと考えております。すいません。
0:41:20	はい。サグチですわかりました。もし何か機会があったら今後確認させていただきたいと思うんですけど。ちなみになんですけど最初ご説明あった時に、
0:41:31	今特重の話が少し出て特集で、標準応答スペクトル関係ですね特定せずで、
0:41:38	の話もあるので、これも同じような形でそこそこと女、同じようなタイミングなのかどうかわかんないんですけど、ご説明をっていう、
0:41:49	あったんですけど、御社はだから、そういう形で今その申請がされているようなところでも、ちゃんと説明を、
0:42:00	これを含めた形でして進めていきたいとそういう、
0:42:04	理解でよろしいんですかね。
0:42:07	よく電力のアビルです今佐口さんおっしゃられた通りでですね、我々としてもですね、実はですねこういう知見が出た時に我々の社内です、新知見なのかということに関しては、
0:42:19	基準地震動や基準津波に影響するかということ、
0:42:23	スクリーニングアウト、情報としてですね、スルーような作業をしていますんで、実際、今回はその作業を当社の中でしました。ただし、
0:42:33	それで一応スクリーニングアウトというのは当社の伴勝手な判断ということになります。で、これがもう新知見だということ、をですね規制庁さんの方でですね、
0:42:43	認定されればですね、というかももちろん我々としてはもう審査の中です、ご説明していきたいというふうに考えておりますので、その際はよろしく願いいたします。
0:42:55	はい。昨日考え方はわかりましたので、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:42:59	最後なんですけど、先ほどちょっと熊谷からもちらっと、
0:43:03	あったと思うんですけど、4ページの部分で、いわゆるその日本海、
0:43:08	当プロジェクトとはこれ別なのかなと、少し思ったんですけど、
0:43:16	そうですね。ただし、日本海、
0:43:19	桃園部に調査というものに関連するののか引き続きなのか、ちょっと私にはよくわからないんですけど、こういったプロジェクトもあって、さらに、
0:43:31	その中でちょっと、どう評価をして今回の長期評価に、
0:43:37	反映されているのかみたいなのは、
0:43:40	何か見てらっしゃいます。
0:43:45	中国電力鹿島です。すいませんちょっとその点につきましてはちょっとまだ調査ができておりません申し訳ありません。
0:43:53	はい。最後ですわかりましたとりあえず簡単でしたけど、以上です。
0:44:11	ちょっと今、関連したところとして4ページですね。
0:44:15	4ページでちょっと私も、熊谷とあと佐口の方から質問があったことに関して、もうちょっとちょっと掘り下げてお聞きしたいなと思います。
0:44:24	2014年中国電力株式会社2014年を、
0:44:29	参考にして地震本部の方は評価を実施したと。
0:44:34	その2014年と言ってるものについては、これは、
0:44:39	第95回審査会合資料。
0:44:42	これを、
0:44:43	推本が参照してると。
0:44:46	ちょっとお聞きしたいのは、
0:44:48	推本の方から具体的なデータの提供依頼とかあって提供してるとかそういうことではなくて会合の資料を
0:44:55	公開資料として推本の方は引用しているという理解でよろしいでしょうか。まず1点目です。
0:45:02	はい。中国電力鹿島です。今おっしゃられたようで当社の方から、地震本部さんの方に直接データを提供した実績はございませんであくまで、審査会を資料として公開されているものを引用されたものと認識しております。
0:45:17	規制庁の名倉です。
0:45:19	わかりました。あと、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:45:20	2014年以降のDたについては、これは中国電力としては会合でこれも出している。
0:45:29	公開してると、で交換してるもの。公開審議で基準地震動の策定とか、海域活断層の評価長さっていうのは、審議をしているので、
0:45:39	それについては、少なくとも推本の方では参照した形跡はないと。
0:45:44	ということは事業者としては確認できているということですね。はい、中国電力柏です。今おっしゃられた通りで、今、第90回の審査会合以降の資料を参照されてますかという、
0:45:58	下の確認をしたところ、それはしてないというふうなご回答いただいております。以上です。
0:46:04	わかりました。あと地震本部が今回の表、長期評価にあたって、参照しているデータの中で、少なくとも中国電力の
0:46:14	基準地震動策定に係る審議の中では参照していないデータが、
0:46:19	二つあって、2020年と2021年のこの、それぞれ、東京大学地震研究所とかいう研究開発機構それぞれが関与したプロジェクトですけれども、
0:46:31	こちらについては、評価上は影響しないと、少なくとも中国電力の評価と重複している部分に関してはこのデータを考慮したとしても中国電力の評価は、
0:46:46	基準地震動策定の段階で議論した内容から変更はないということの確認。
0:46:52	これはできているという理解でよろしいですか。はい。中国電力鹿島です先ほど熊谷様のご質問に対する回答と重複いたしますが、これらの文献も確認してしておりますが、
0:47:06	基本的な当社の評価の上回るような、断層トレースとかそういったものはないということは確認してございます。以上です。
0:47:14	わかりました。現段階では、そういうことについては一応御社がどこまで、
0:47:21	掘り下げて中身を確認していてどういう見解であるかということ、この面談の場で確認をしましたがこれもこれは本来は本当に影響があるかどうかということについては
0:47:33	必要に応じてしかる場で、公開でやるべき話かなということで理解をしました。私からは以上です。
0:47:44	規制庁富井です。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:47:46	私ちょっと確認したいのが、先ほどの議論、いろんな方の質問とダブってしまうのかもしれないですけど、4ページのこの甲斐活断層の認定、地震本部が書いてあるような、こういったこと、
0:47:58	ってというのは、今のところ御社としては、
0:48:01	取り込む必要は
0:48:03	ないっていうふうに考えてるってことでいいですか。
0:48:09	中国電力はします。すいません。丹タニさんおっしゃられたのは、もう一度お願いしたい。
0:48:15	4ページのね、地震本部の、
0:48:17	要するに鮮新世以降の地層に着目した、こういった評価方法、そういったことを、中国電力としては特にそ、そういったことをしなくてもいいんじゃないのかっていうふうに考えている。
0:48:31	ていう、考え方として取り込むような必要はないっていうふうに考えてるといえることですか。
0:48:36	はい。すいません、中国電力加島です。当社としましてはあくまで活断層の有無というのはガイドの記載に基づきまして後期更新世以降の地層の、
0:48:47	変位変形の有無というのが基準になっておるとお思いますので、
0:48:50	鮮新世の変位変形というのはですね、地質構造の発達過程という観点では、見る必要あると思いますが、活断層の評価という観点ではですね、取り込むべき知見ではないというふうに考えております。以上です。
0:49:04	はい。お考えを確認しました。
0:49:06	あとはですね、ここの、
0:49:10	推本の長期評価との違いっていうのを、
0:49:13	22ページ以降、
0:49:16	さっき熊谷さんも確認したんですけども、
0:49:19	これ結局 20、
0:49:21	22ページは
0:49:24	測線が違ふだろうという話、新しい測線があるよという話。
0:49:28	23ページ以降は、最後の結論としては活断層の定義のの違いによるものと考えられるということにしてるんですけど、これ具体的にはもう測線を見て、
0:49:39	そういう、中国電力は、
0:49:43	見ている測線を見て、それはもう、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:49:46	確認した上、こういう定義の違いであろうと。
0:49:50	いうふうに判断してるってことなんですか。
0:49:54	中国電力加島ですすみません江藤、こちらにつきましてはちょっと推本さん細かなトレースのところを読まれているかというのがちょっと資料から読み取れないところがあるので、
0:50:04	厳密に分析をしたかというです。ね、そこまででききれておりませんが、当社の測線の中でですね、B層に変位変形がないというようなところは、確認してございますので、
0:50:14	そういったところを踏まえてこういう記載
0:50:17	活断層の定義に変えるものではないかというふうに考えられるというふうな記載をさせていただいております。
0:50:23	規制庁丹です。だからあれですかね、改めてこう見比べたりとかそういうのは、もう今後もちょうとできそうにないんだけど、それは推本のデータが、
0:50:33	はっきりしないからだけど、
0:50:37	既許可で評価してる内容っていうのが、こういったことで確実に止めてるから、それは定義の違いによるんだらうと思ってるってことで、こう書かれてるってことですか。
0:50:47	はい。中国電力鹿島です。今おっしゃられた通り、オペレーターを趣旨でですね、そういった記載をさせていただいております。以上です。
0:50:55	はい、ありがとうございます確認できました。
0:51:04	うん。
0:51:05	季節は名倉です。
0:51:08	これを全体を見たときの、
0:51:10	所感なんですけどね。
0:51:14	やっぱりまず最初にですね、大方針、
0:51:17	というものがちゃんとあって、
0:51:20	それに基づいて評価をするところですっていう流れなんですけど、そのところがちょっともう少し明確にさせていただきたいな、先ほどちょっと検討用地震検討用津波に対しての影響ありませんと。
0:51:32	敷地への影響の観点で比較した場合に、選定に影響がないと。
0:51:37	いうこと、あと選定した結果に対してパラメータを比較しても、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:51:43	評価上の影響ってというのは不確かさを考慮した評価を実施してるから影響ないとか、そういう結論に持っていくのかどうかってちょっとそこら辺はまだ津波が見えてないところあるんですけど。
0:51:53	そういう意味で、ちょっと
0:51:56	こういった資料に関して、まず最初に大方針があるべきだろうと、そこが明確ではないと。
0:52:02	これはいろんな審査で中国電力に、設工認でも指摘をしているんですけど、
0:52:07	これはもうちょっとしっかり、
0:52:09	言っていたきたいなど。
0:52:11	その中でおそらく、今回、この中で評価をしている骨子っていうものを、流れとして理解しようとする、
0:52:22	まず最初に、
0:52:24	推本の評価と、
0:52:26	中国電力の評価、
0:52:30	に対しての違い。
0:52:31	と、それに対しての考察がまずあると。
0:52:34	その考察を踏まえて、
0:52:37	じゃあ一体何を、影響検討するのかということでは、基準地震動の策定、基準津波の策定の中のプロセスの中で、検討用地震検討用津波、
0:52:47	の選定に関して、
0:52:49	の影響がないということの確認、もしくはその地震動評価とか、必要に応じて地震動評価時、基準津波の津波の評価に対して影響がないというところまで、
0:52:59	必要に応じて掘り下げて、要は相対的に基準津波、基準地震動の策定の影響がないということを判断している。
0:53:07	そんな時に、
0:53:10	心として重要なのは、おそらく、
0:53:13	推本は、鮮新世以降の、
0:53:19	活動と、
0:53:21	に着目をして、より安全側にかもしれないんですけども、
0:53:27	今後、
0:53:29	起こることを想定する。
0:53:32	災害防止上ということなのかもしれないけど、推本が、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:53:36	今後、起こることが否定できないものとしてどこまで考えるか。
0:53:41	ということのまだ判断基準があると思うんですけど、
0:53:45	そこは若干の違いが、新規制基準適合性の審査のガイドとか、別記2の基準と推本の
0:53:55	考え方若干の違いはあるけれども、双方とも、その分野で想定する、すべき、活動する地震、
0:54:06	もう想定というもの。
0:54:08	それぞれ想定してるわけであって、今回おそらく中国電力はそこに踏み入ってですね。
0:54:14	その違いがあるからってということで、明確に説明を全体しようとしてるわけではなくて、そこは推本の長さを、
0:54:24	考慮したとしても影響がないということで丸め込んでるわけですね。
0:54:29	評価基準の違いに関して何か中国電力が物申すわけではなくて、
0:54:35	そのところをちょっと大方針として重要だと思うので、
0:54:39	そういったところは少し方針として、やっぱり書いといた方が、途中書いてあるんですけどね。
0:54:45	そこはもう推本の長さを採用しても保守的に取ったとしても影響しないんですよ。
0:54:51	評価の違いはあるんだけど影響しないってところまでやっているってところですよ。そこら辺がちょっと心として表れていないのかな。そういう意味で方針をちゃんと
0:55:03	こういう評価をするのであれば、やって欲しいなという気がちょっとしました。
0:55:10	中国電力の阿比留ですご指摘ご最もだと思います我々の資料の中にですね、まず大前提のことをちょっと書いてなくてですね、
0:55:20	我々としては今回速報的にですね、保守的に見ても、基準地震動基準津波に影響ないっていうお話をさせていただきたいということを考えておりまして、
0:55:30	そこら辺がちょっと大前提としてなかったと。当然推本さんのお考えと、我々の考え、こういうふうに違うんだということをしてですね、しっかり説明していくにはですね、
0:55:40	審査の方ですね、ご説明できたらなというふうに思っておりますで、先ほどもちょっと言ったことの繰り返しになりますけども、とりあえず

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

	今回、保守的に見て我々としてはもうすぐ2個の知見をスクリーニングアウトっていうことではあるんですけども、
0:55:56	追補、規制庁さんの
0:55:59	次。
0:56:02	議。
0:56:03	技術情報検討会の方ですね、これも新知見だというふうに認定されればですね、我々としてはもう審査の中でですね、よりしっかりそこら辺の違いも踏まえてですね、
0:56:15	我々の考え方とですね、評価についてですね、ご説明差し上げるといふふうに思っております。以上です。
0:56:26	規制庁の名倉です。
0:56:27	わかりました。今回これ事業者の今、現状における、こういった推本が長期評価を公表したことに対して、事業者が第一義的にまず
0:56:41	今までの審査した結果に対しての影響。
0:56:45	これについて、情報提供をしてもらったと今回、
0:56:49	ということなので私たちはこれを踏まえてですね、
0:56:52	そういった技術情報検討会とかそういった場で、
0:56:57	新知見なのか新知見関連情報なのかっていう分類と、
0:57:03	それを直ちに考慮すべきものなのかどうかというところの検討を、技術情報検討会でいろいろしくちゃいけないので、かつ、
0:57:14	組織としてそれを必要に応じて判断をしますので、
0:57:18	その時に少し、今回面談で情報提供いただいた内容について、
0:57:23	これをちょっと考慮した上で私たちは検討するということになると思います。
0:57:29	ということで今回あくまでも影響評価としてこの内容が出ていると。これを、
0:57:34	実際審査の場でどういうふうに、
0:57:37	審査の場は影響そのものではなくて、何をその新たな知見としてみなして、
0:57:44	それを今までの審査の内容にどう反映するのかということが審査の話題であって、
0:57:50	ですからそういう違いはあるので、そういう違いも踏まえた上で、今後ですね必要に応じて説明の仕方をしっかり検討していただきたいと思
0:57:59	私からは以上です。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:58:06	規制庁熊谷です。
0:58:07	ちょっと長評価の、
0:58:09	ところでですねちょっと一部、
0:58:12	記載されてるところをちょっと確認したいんですけども。
0:58:15	長期評価の中でですね、
0:58:18	断層の評価として、
0:58:21	グループ井原西方沖断層大衛藤。
0:58:24	御社でいうところのF 57 断層、
0:58:27	こちらと、先例河成、
0:58:29	東邦南断層、
0:58:32	こちらについては異なる。
0:58:35	起震断層とはしているんですけども、隣接しているため、連動して活動する可能性は、
0:58:40	完全には否定できないとかっていうような、
0:58:43	記載も、
0:58:44	長期評価の中であったりするんですけども、
0:58:46	そこについて何か御社の方ですね、評価され、
0:58:52	検討されてるようなところがあればですね、教えていただきたいと思います。
0:58:58	すいません中国電力鹿島です。今回はですね、それぞれの個別の断層についての評価までの検討までしかまだ至っておりませんで今おっしゃられた、
0:59:08	この断層間の連動というのは、文章の中に記載されている件についてですね評価というのがまだできてないところもございますこちらについてはですね、今後、
0:59:19	連動か考慮する必要があるのかどうかとか、放流しても影響がないとか、いろんなせの評価の仕方があると思いますので、こちらは今後検討して参りたいと。
0:59:29	以上です。
0:59:41	1点だけちょっと忘れていて規制庁の名倉です。
0:59:44	1点だけ忘れていたのでちょっと細かいんですけどお聞きしたかったのは、12 ページで、
0:59:50	F 345。
0:59:52	断層について等価震源距離が 19.4 キロ。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:59:57	なんですけれどもこれ等、
1:00:01	15 ページとの関係。
1:00:03	これをちょっと教えてもらえますか。
1:00:11	はい。中国電力の秋山です。
1:00:16	まず 12 ページで F I F O 断層 19.4 キロ、これちょっと先ほども
1:00:23	ご説明しましたが、矩形断層の、一応だ。
1:00:29	一応断面、アスペリティを考慮してない。
1:00:31	断面、それで、計算した等価震源距離となっています。それに対して、15 ページにつきましては、
1:00:41	これはアスペリティを考慮した
1:00:45	断面、
1:00:46	それを考慮することで、等価震源距離がお話断層でも近くなっていると。
1:00:52	そういった関係になります。
1:00:58	あ、わかりましたちょっと聞き逃していました。
1:01:01	あくまでも 1045 ページ、103045 ページの流れの中では、15 ページは、アスペリティを考慮した場合、
1:01:10	等価震源距離を出し直してそれを耐専スペクトルによる影響評価の中で、より絞り込みを行った中で比較をしているということで理解をしました。
1:01:22	はい。常銀の秋山です。おっしゃる通りです。
1:01:42	規制庁熊谷です。
1:01:44	今回いろいろとですねご説明いただいて、内容等についてもですね、質疑させていただきました。
1:01:51	今回いろいろ
1:01:53	整理してご説明いただきましたけど、今後もですね
1:01:57	いろいろなところで評価をされてですね今後どうするのかってのもですね、審査の中でやるのかとかそういう話もですね今後あるかと思imasuので、
1:02:06	これについてもですね今後またよろしくお願ひしたいと思imasu
1:02:10	何かありましたらお願ひします
1:02:13	中国電力の阿比留ですこれ先ほど名倉さんからもございましたように、速報ベースですね情報提供ということをお願ひさしていただいたという実現させていただいてですね、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:02:25	規制庁さんですね技術検討会の中でですね新知見というようなことであればですね、しっかり審査として、先ほどのおっしゃられたような観点ですね、活断層の評価してですね、
1:02:35	またご説明差し上げたいと思いますのでよろしくお願いいたします。
1:02:42	規制庁熊谷です。はい。ご説明ありがとうございました。
1:02:46	それではこれもちましてですね、面談を終了したいと思います。ありがとうございました。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。